



# 経営比較分析表について





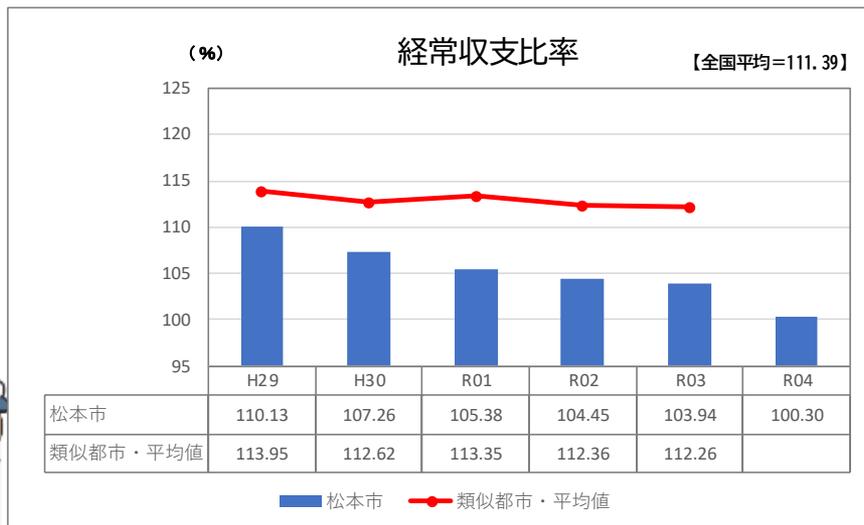
〔指 標〕 給水収益・使用料収入等で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す。

〔算出式〕 経常収益/経常費用×100

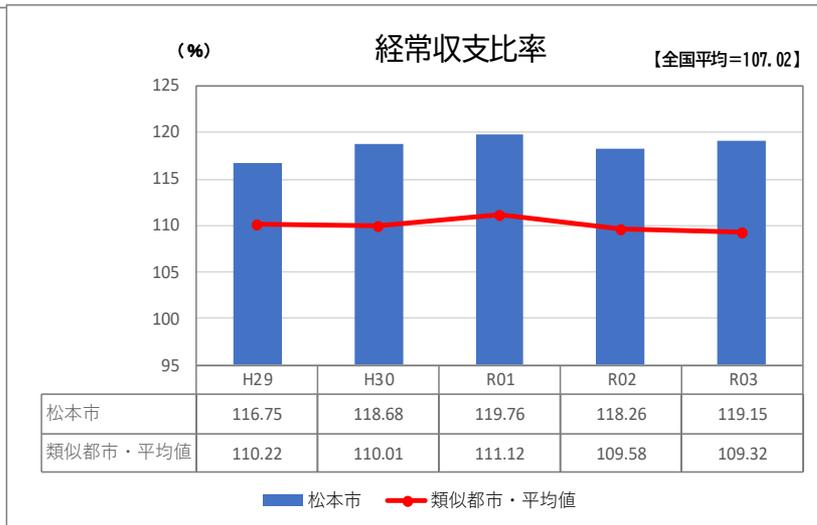
〔見 方〕 100%以上で黒字。100%未満は収支が赤字であることを示しているため、経営改善に向けた取り組みが必要となる。

〔分 析〕 水道は100%を超えているが、低下傾向。下水道は良好な値で推移。

【水道事業会計】



【下水道事業会計】





【指 標】 給水に係る費用・使用料で回収すべき経費が、どの程度給水収益・使用料で賄えているかを表す。

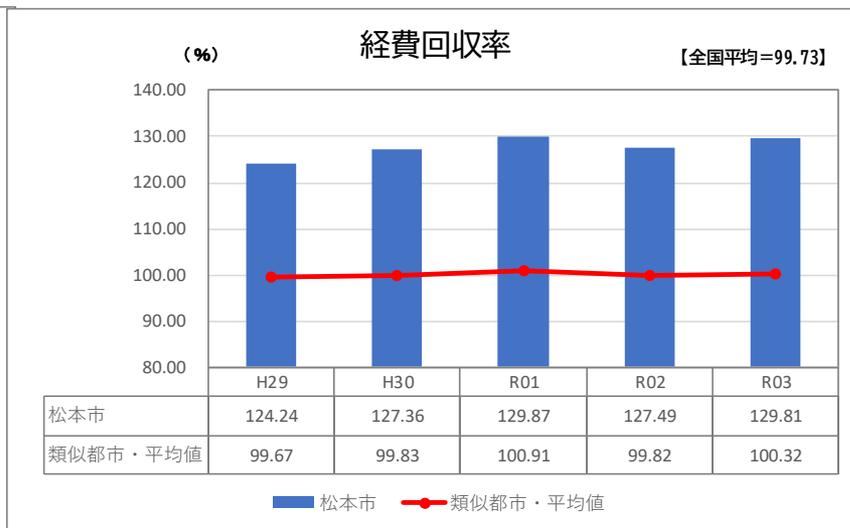
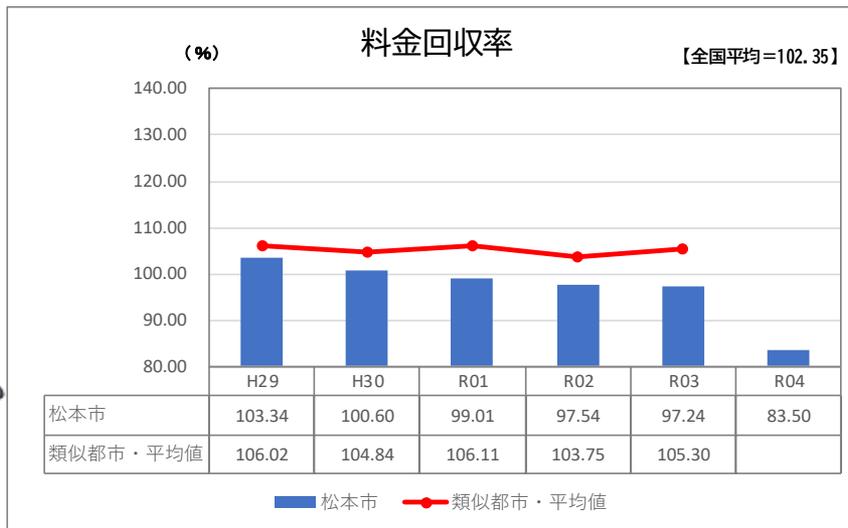
【算出式】 供給単価/給水原価×100  
使用料/汚水処理費×100

【見 方】 100%を下回っている場合、給水収益・使用料以外の収入で賄われているため、適正な収入の確保が求められる。

【分 析】 水道は令和元年度から100%を下回り、適正な料金の設定が必要。下水道は、良好な値で推移。

【水道事業会計】

【下水道事業会計】





【指 標】 有形固定資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表し、資産の老朽化度合を示す。

【算出式】 減価償却累計額/償却対象資産の帳簿原価×100

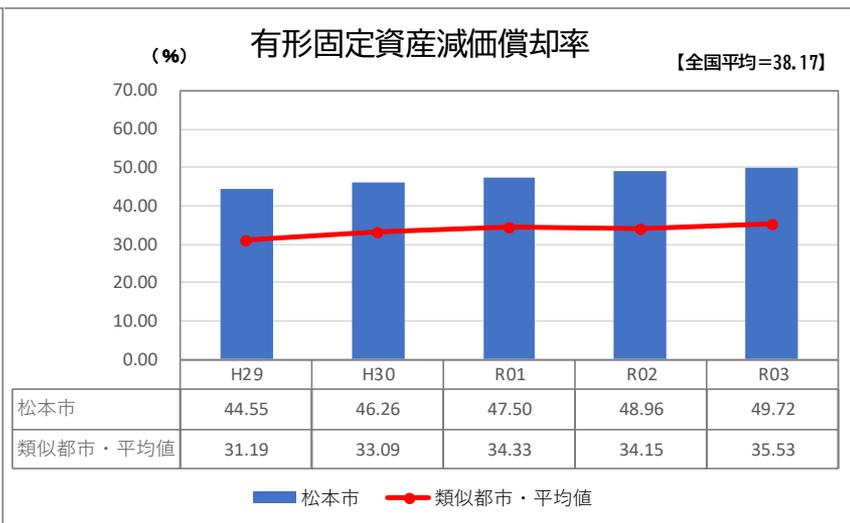
【見 方】 数値が高いほど、法定耐用年数に近い資産を多く保有。類似団体と比較し自団体の状況を把握・分析を行い、必要に応じ経営改善の実施等を行う。

【分 析】 水道は平均値よりやや高く、下水道は高くなっている。どちらも年々増加傾向。

【水道事業会計】



【下水道事業会計】





【指 標】 法定耐用年数を超えた管路延長・管渠延長の割合を表し、老朽化割合を示す。

【算出式】 法定耐用年数を経過した管路延長/管路延長×100

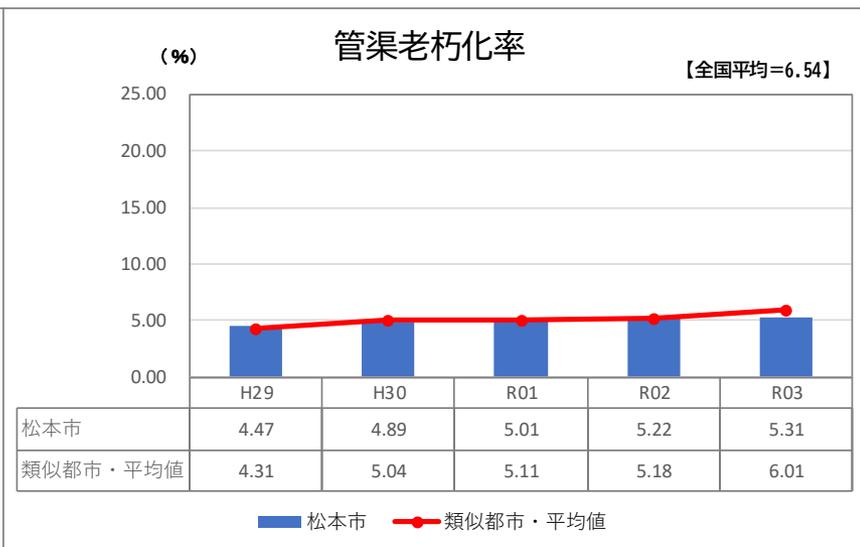
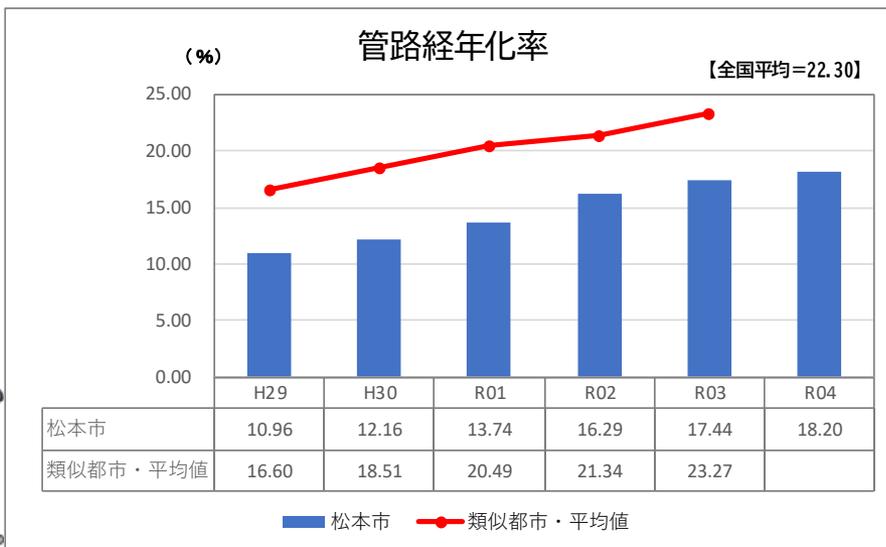
法定耐用年数を経過した管渠延長/布設下水道延長×100

【見 方】 数値が高い場合は、法定耐用年数を経過した管路・管渠を多く保有。類似団体と比較し自団体の状況を把握・分析する。

【分 析】 水道は平均値より低く、下水道は平均値並みだが、どちらも年々増加傾向。

### 【水道事業会計】

### 【下水道事業会計】





【指 標】 更新した管路延長・管渠延長の割合を表し、更新ペースや状況を把握する。

【算出式】  $\frac{\text{更新した管路延長}}{\text{管路延長}} \times 100$   
 $\frac{\text{改善管渠延長}}{\text{下水道布設延長}} \times 100$

【見 方】 数値が1%の場合、全ての管路・管渠を更新するには100年かかるペース。必要に応じて、経営改善の実施等を行う。

【分 析】 水道はS60からH12に布設替工事を積極的に行ったため、平均値より低く推移。下水は更新需要増加により上昇。

【水道事業会計】

【下水道事業会計】

